

第 81 回杏雨書屋特別展示会

杏雨書屋所蔵の日記類

今回の特別展示会では、これまで展示される機会が比較的少なかった各種日記類を展示することになりました。杏雨書屋には 16 世紀以降の医療従事者が残した日記やそれに関連する資料が多数収蔵されています。

更に、国の重要文化財に指定されている平安中期の藤原資房（1007－1057）の『春記』3 巻（藤原俊成本）、鎌倉後期の正親町三条実躬（1264－？）の自筆本『実躬卿記』51 巻も展示します。興味深い日々の記録を、その紙背文書共々ご覧いただければ幸いです。

2025 年

10 月 14 日(火)

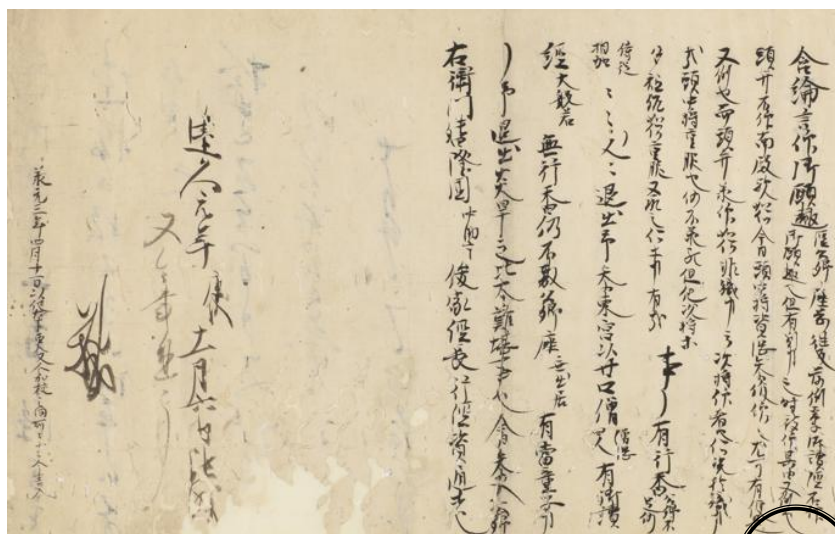


12 月 25 日(木)

【休館日】土・日・祝

但し 10/18、10/25、10/26、
11/15、11/22、11/23 は開館

【開館時間】10～16 時



* 重要文化財原本の展示は 10 月末まで

《重文》『春記』（洗 1）「永承三年夏巻」 書写奥書

第 52 回杏雨書屋研究講演会

【開催日時】2025 年 10 月 18 日（土）13 時～15 時 30 分

【会場】武田道修町ビル 5F ホール

【演者/演題】山中 浩之(大阪府立大学名誉教授)

「医家の遊学と遊歴と—関屋文白『遊歴日記』を中心に—」

長田 直子(山梨大学 非常勤講師)

「在村医家の日記に見る幕末期の地域医療—『本田覚庵日記』を中心に—」

【申込方法】下記電話番号、e-mail アドレスにて受け付けます。

TEL/06-6233-6108(平日 10 時～16 時), e-mail/kyou@takeda-sci.or.jp

* 申込み先着順で予約人数が 5F 本会場の定員を超えた場合は 5F サテライト会場へのご案内となります。両会場とも座席指定制です。参加ご予約の際、ご連絡先としてご自宅または携帯のお電話番号を併せてご連絡ください。

* 詳細は下記 Web サイトをご覧ください。

<https://www.takeda-sci.or.jp/kyou/>

申込締切：10 月 16 日(木)



お申込みをお待ちしています。

公益財団法人
武田科学振興財団

杏雨書屋

大阪府中央区道修町二丁目 3 番 6 号
武田道修町ビル 1F 特別展示室